

生き延びるための歩行

walking practice -OIC避難編-

PROJECTMEMBER

募集中

立命館大学を拠点として、アートプロジェクトにトライしてみよう。

いばらきキャンパス

行政課題

×

文化芸術

×

学術分野

「walking practice」とは、車椅子ユーザーである現代美術家の檜皮一彦氏が全国各地で実践しているプロジェクトです。車椅子で移動する際に生じる様々な制限は、アクセシビリティに関わる権利、災害など有事の事態においては生存にも関わる重大な課題です。今回茨木市を舞台に、災害に遭遇した設定下で車椅子を目的地まで運ぶプロジェクトを行ないます。他者と協力しながら、からだと感覚を動かす中で新たな視点や当事者意識を得ることができ、社会課題について考えるきっかけとします。市民を公募して実施する本番に向け、その企画・実践を行なうメンバーを募集します。

#防災 #アクセシビリティ #歩く #既成概念に捉われない視点

一般の方歓迎
単発参加可

VOL.

1

2024年12月19日(木) 場所：立命館大学OIC (H棟1F：TERRACE GATE)

●昼休み12：15-12：50 (昼食持込み可)

オリエンテーション&レクチャー

「アートの視点で社会課題にアプローチするとは」

講師：檜皮一彦(アーティスト)、茨木市文化振興課職員

✓本プロジェクトの概要説明

✓避難/移動がなぜアート？アートの視点で社会課題にアプローチ？

現代アートの事例を参照しながら座学で学ぼう。

VOL.

2

●5限16：30-17：50 場所：立命館大学 (B棟 2階B275教室)

車椅子を運ぼう

講師：檜皮一彦

✓車椅子に触れてみよう

✓大学構内にいる時に災害が発生したら？体験してみよう。

VOL.

3

2025年1月16日(木) 5限16：30-17：50 場所：立命館大学OIC (B棟 2階B275)

デザインワークショップ

 講師：檜皮一彦、映像学部望月茂徳教授

✓本番で参加者が多様な身体性を体感するための装置のアイデア出し

✓インタラクティブメディアを活用した装置のデザイン制作

VOL.

4

2025年2月13日(木) 14：00～16：00

場所：立命館大学OIC、クリエイトセンター、市内等

テスト

装置の操作テストおよび本番を想定した避難訓練の実施。

GOAL

5

2025年3月8日(土) 14：00～16：30 講師：檜皮一彦、茨木市危機管理課職員

本番

 場所：クリエイトセンター→市内→岩倉公園

市民参加型の避難訓練を実施。災害に遭遇した状況下で、居合わせた多様な人とどのような経路でどのようにして避難するのか、避難計画を立てて体験する。

市職員より、災害が起きた時の対応方法や避難地/岩倉公園の防災機能等を教わる。

